

オリンピック・パラリンピック教育を実践する！

# フェアプレイ教育を実践する！ ー推進用教材と利用方法の紹介ー

## 概要編

- |                            |       |      |
|----------------------------|-------|------|
| 1. 本書の作成意図と使いかた            | _____ | p. 2 |
| 2. オリパラ教育ってなに？             | _____ | p. 3 |
| 3. 日本体育大学：N-COPEが目指すオリパラ教育 | _____ | p. 4 |

## 実践編

- |                     |       |      |
|---------------------|-------|------|
| 4. フェアプレイ教育の可能性     | _____ | p. 6 |
| 5. フェアプレイ教育が児童に育むもの | _____ | p. 8 |
| 6. 指導案（展開案）例        | _____ | p. 9 |
| 7. 参考ホームページ         | _____ | p.12 |

<スポーツ庁委託事業>

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業  
N-COPE（日本体育大学／東京・世田谷キャンパス）

\*本書で解説するフェアプレイ教育は、小学生を対象にしています。  
\*本書はFair Play表記を「フェアプレイ」に統一しています。

# 1. 本書の作成意図と使いかた

**Q.1** このような悩みをお持ちの先生は、いらっしゃいませんか？

- オリパラ教育の必要性はわかるけど、  
何から手をつけて良いのかわからない！
- オリパラ教育に関する情報は沢山あるけど、  
結局どれをどのように活用すればよい？
- オリパラ教育を実践するために、  
具体的な手立てや指導案などはない？
- オリパラ教育に関する、何か一例があるとうれしい。

**Ans.**

お悩みを解決するために、**オリパラ教育の実践例**として  
本書では、**フェアプレイ教育を紹介・解説**していきます。

## 本書の目的

- 本事業の紹介およびオリパラ教育におけるフェアプレイ教育を題材とした授業実践例の紹介・解説を目的とする。

## 本書の構成

- フェアプレイ教育紹介は各関係機関／団体が発信する出版物や取り組み例を参考とする。本書には、既存の教材をさらに活用してほしいという意図がある。

## 2. オリパラ教育ってなに？

### Q.2 そもそも、なぜオリパラ教育が実施されるの？

#### Ans.

我が国では、東京2020大会を控えて、  
オリンピック・パラリンピック教育の推進が閣議決定されました。

#### 参考

【オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて：最終報告】

([http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/shingi/004\\_index/toushin/1375094.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/004_index/toushin/1375094.htm))

<スポーツ庁 オリパラ教育の推進に向けて>

◎余談ですが、スポーツ教育の有効性は世界的に認められています。  
それは、「国際憲章」や「日本の法律」からも窺い知ることができます。

#### 参考

【国際的な組織：ユネスコの体育・スポーツに関する国際憲章<第2条 2-2>】

「個人のレベルでは、体育・スポーツは健康維持と増進に貢献し、  
健全な余暇の利用を提供し、現代生活の欠点の克服を可能とする。

社会的レベルでは、体育・スポーツは社会関係を豊かにし、

スポーツだけではなく社会生活にとっても欠くことのできないフェアプレイを発達させる」

【日本の法令：スポーツ基本法 前文】

「スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、

他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、  
実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し…（中略）

さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、…」

### 3. 日本体育大学：N-COPEが目指すオリパラ教育

◎日本体育大学では、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの推進にあたり、**N-COPE (NSSU-Center for Olympic and Paralympic Empowerment)**を設置しました。

◎N-COPEでは、以下のことを目指します。

#### 参考

2020年に向けて、オリンピック・パラリンピックへの国民の関心を高め、スポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するため、全国各地においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する。

◎2020年東京大会が決まったいま、N-COPEは日本全国にスポーツの価値を伝えるなど、オリパラ教育に関わる支援を中心に事業を展開しています。

#### 参考

本事業の展開例は、

検索

◎それは、国民一人ひとりがスポーツについて・通じた<学び>から、世界中の人々と繋がるきっかけを提供することになると考えます。

☆これがN-COPEにおける

**オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業**

の基本コンセプトです。

# オリパラ教育に見出される、「教育的価値」

## オリンピックの価値教育プログラムの視点

### ● 努力から得られる喜び (Joy of Effort)

若者は身体活動、運動、ゲーム、スポーツを通じて、自分自身あるいは相互で挑戦することにより、身体、行動、そして知力のそれぞれのスキルを発達させ実践する。

### ◎ フェアプレイ (Fair Play)

フェアプレイは元来スポーツから生まれたコンセプトであったが、試合の場を越えて様々な方法や状況で応用されてきている。スポーツでフェアプレイの行動を学ぶことは、日常生活におけるフェアプレイな行動の育成と強化につながる。

### ● 他者への敬意 (Respect for Others)

多文化社会に生きる若者が多様性を受け入れて尊重することを学び、個人として平和な行動を実践すれば、平和や国際理解を促進することになる。

### ● 卓越性の追求 (Pursuit of Excellence)

卓越性に念頭を置くことは、若者が肯定的で健全な選択をし、何をするときにもできる限りベストになろうと努力する助けとなる。

### ● 身体・意志・知性の調和 (Balance between Body, Will and Mind)

学ぶという行為は、精神的な面だけでなく、全身で行うものであり、運動を通じた身体的リテラシーや学習は、道徳的にも知的にも学習の発達に寄与する。

## 国際パラリンピック委員会が示すパラリンピックの4つの価値

### ● 勇気 (Courage)

マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力。

### ● 強い意志 (Determination)

困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力。

### ● インスピレーション (Inspiration)

人の心を揺さぶり、駆り立てる力。

### ● 公平 (Equality)

多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力。

## 4. フェアプレイ教育の可能性

**Q.3** そもそも、フェアプレイ教育ってなんですか？

**Ans.**

前ページにある通り、フェアプレイはスポーツから発生した行動です。  
その意味は、フェア（公平・公正）に・プレイする（ふるまう）。

たとえば、スポーツの試合で子どもたちが相手をリスペクトすること、  
ルールをきちんと守ること、正々堂々振る舞うことを目指すことなど。

これらを、日常生活でも実践することを狙う教育といえます。

**参考** スポーツにおける「フェアプレイ」について

スポーツがスポーツとして成立するための基本的要件。

フェアプレイという精神的態度がなければ、スポーツは秩序を喪失した状況へと陥る。

つまり、スポーツを成立させるために、ルールの厳守や正々堂々と戦うことなど、

参加する側の「義務」とも考えることができる。

◎フェアプレイの概念は、授業で次のように使用／回答することができます。

●なぜスポーツにフェアプレイが必要か？

- ▶ ルールは世界共通、だから世界の人々は同じ空間でスポーツを共有できる
- ▶ ルールを守る姿は、する・みる・支える人に<感動>を与える土台になる

●フェアプレイは日常生活でどのように活かせる？

- ▶ フェアプレイ自体は、スポーツだけに使うことができる「態度」ではない
- ▶ そこでスポーツのみならず、日常生活でも活用できる<心構え>と考える

◎p. 3で確認したとおり、オリパラ教育は世界レベルで推進されています。  
「フェアプレイ教育」に着目するN-COPEは、次の方針を掲げています。

### 参考

フェアプレイの精神についてはスポーツ・インテグリティとの関連を軸にクリーンでフェアなスポーツの推進を念頭に情報を発信する…（中略）…フェアプレイ教育推進用教材にあたっては、フェアプレイへの理解を促す視点を大切に扱う。

★そこで先生も、フェアプレイ教育を学んでみましょう！

### ☆フェアプレイ教育を学ぶためのヒント集

- **スポーツ・インテグリティ（高潔性・品位・完全な状態）を守る運動**  
(<https://www.jpnsport.go.jp/corp/tabid/539/Default.aspx>)  
<日本スポーツ振興センター（JSC）シンポジウム『Integrity of Sportを考える』開催報告>
- **スポーツの価値を基盤とした授業の“ススメ”（授業づくりの参考）**  
(<http://www.school.playtruejapan.org/>)  
<日本アンチ・ドーピング機構（JADA）HP：スポーツの価値を基盤とした教育>
- **フェアプレイ教育の考え方・有効教材（授業で使用可能なヒント集）**  
(<http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/>)  
<日本体育協会 フェアプレイで日本を元気にHP>

☆これら、いずれの「フェアプレイ教育」でも大事に扱っているものは、  
「子どもの人間的（例えば人柄の）成長に貢献すること」  
「他者理解のための方法として活用可能であること」など。

☆つまり、スポーツを通してフェアプレイを理解するという学習は、  
広い意味で捉えると、人生における「生き方」を学ぶということ。

## 5. フェアプレイ教育が児童に育むもの

**Q.4** では、フェアプレイ教育をどのように展開すればよいですか？  
また、授業のねらいはどのように設定しますか？

**Ans.**

たとえば、オリンピック・パラリンピックの競技場面を示して、競技者がフェアにふるまう「**生き方**」**そのもの**に触れながら、学習を展開します。

このとき「競技者のふるまいは賞賛された」「みんなに感動を与えた」というフェアプレイの枠組みを学習することだけに徹してはいけません。

「なぜ競技者はそのような行為をしたのだろうか？」という着眼点をもって、教員と児童はともに考えてみましょう。

こうした学習は、クラスで**フェアプレイという「考え方」を学ぶ**ことができる一方で、一人ひとりの児童が**フェアな「生き方」を実践する**ための「実践知(実際の現場で適切に判断する能力)」を高めると考えられます。

### 参考

☆日本体育協会が提唱する、フェアプレイ理解の方法

(<http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/inc/pdf/prospectus.pdf>)

<日本体育協会 フェアプレイで日本を元気にキャンペーン 趣意書>

「**行動としてのフェアプレイ**」・「**フェアプレイ精神（フェアな心〈魂〉）**」

☆フェアな「行動」と、そうしようとする「心」を区別して考える

<例えば>

- ・すすんで友達を助けることができる（行動としてのフェアプレイ）
- ・友達のよい行動に気づく、自分も心がけている（フェアな心・魂）

## 6. 指導案（展開案）例

※使用する学年にあわせて表現等、適宜変更してください。

### 1. テーマ・授業例

- テーマ : スポーツの価値であるフェアプレイ (Fair play) を学び、  
日常生活でも活用できるようになるろう : (ねらい)
- 授業 : 「アスリートのフェアプレイ精神に学ぼう！」 : (めあて)

### 2. 授業の目標

- フェアプレイを、ルールを守るだけの行為あるいは見せかけの行為ではなく、フェアな心がその行為を起こし、はじめて実現するものと理解する。
- アスリートの姿から、フェアプレイを起こす気持ちに気づく事ができる。
- 児童が、日常生活でもフェアプレイを実践できる機会があることに気づく。

### 3. 指導の留意点、工夫点

- スポーツの成立はフェアプレイという態度にあること (スポーツの知識)、その態度は今後の生活でも「生き方」の土台になること (知識の応用) を学ぶ。
- 「こうすればよい」というような見せかけの行動・知識を超えて、児童が自ら進んでフェアプレイを起こせそうな機会を考えさせる。

### 4. 使用した教材 (参考例)

- Tokyo 2020 ビデオ公開ページ (YouTube)  
(<https://www.youtube.com/channel/UChAu4dQjR2vyR5baXOtMvVA/videos>)
- I'mPOSSIBLE・オリンピック・パラリンピック学習読本 (組織委員会)  
(<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/education/teaching-material/>)
- 日本体育協会ホームページ フェアプレイニュース  
(<http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/news/>)

時間	教員の活動	指導上の留意点・配慮事項	準備物／参照物
導入① (5分) 【5分経過】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○を1つずつ書き、何を書いているか児童に質問する。(オリンピックのシンボルマークを描く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施クラスのオリンピック・パラリンピック大会の知識の程度によっては、東京で開催される大会がどのようなものであるか、おさらいをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織委員会ホームページを参照</li> <li>p. 7のヒント集を参照</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ(映像教材)をみせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピアン映像が好ましい</li> <li>実践校がパラリンピック教育に重きを置く場合は、I'mPOSSIBLEの映像教材を使用して児童の好奇心を高めてもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tokyo 2020のビデオ集またはI'mPOSSIBLEの映像教材等を活用する</li> </ul>
導入② (7分) 【12分経過】	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてを伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてを伝える時、学ぶことになる対象は「アスリートの精神」にあることを伝える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習読本(小学校編)を読ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアプレイとは何か、本時の基礎知識を学ぶ。(スポーツの知識)</li> <li>児童がオリンピック・パラリンピックに出場しているアスリートの気持ちになってフェアプレイを考えられるよう配慮し、授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習読本(小学校版) p. 30-31</li> <li>他のフェアプレイ教材も是非ご活用ください</li> </ul>
展開① (10分) 【22分経過】	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアプレイの場面に触れながら、それがなぜ賞賛されるのか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に学習読本を読んだ感想を発表させる。</li> <li>アスリートのフェアプレイに着目させる。(行動と心を区別した考え方にに基づき、授業を展開する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアプレイの考え方については、p. 8を参照</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>その人は、なぜそのような行動をしたのか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような生活を送っているアスリートなのか等学習して、より具体的なアスリートのイメージを考えさせてもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その地域に馴染みのあるスポーツやアスリートの映像・資料を使用してもよい</li> </ul>

時間	教員の活動	指導上の留意点・配慮事項	準備物／参照物
展開 ② (10分) 【32分経過】	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のスポーツでも起こり得るフェアプレイの場面を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアプレイの行動・精神は、他の競技にも通じる考え方ということを学ばせる。これを展開させて、学校生活・日常生活でも使用（活用）することができることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアプレイニュース</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうしたフェアプレイの態度が、日常生活におけるどのような場面で使えるか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアプレイ行動から分かる通り、それは「賞賛」されるもの。当然、日常生活でもそれは「賞賛」に値する。よって、いつでもそのように行動ができるように、フェアな心を持つことを大切にさせる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>☆Point</b></p> <p>スポーツと違い、日常ではなかなか賞賛される機会はないけれど、そこには心の成長がある</p> </div>
振り返り (8分) 【40分経過】	<ul style="list-style-type: none"> <li>班ごとに意見をまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に回答するとき、フェアプレイとは「こういうものだ」・「こうするべきだ」というニュアンスにならないように留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニングの視点を意識する</li> <li>p. 12を参照</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの話し合い中お互いの考えを否定させない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が言葉でうまく表現できない気持ちを発言するとき、補助する。（知識の応用）</li> </ul>	
まとめ (5分) 【45分経過】	<ul style="list-style-type: none"> <li>班ごとにまとめた意見を発表させ、まとめを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が「自分で考えたフェアプレイ」の在り方を大切にするように、授業をまとめる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>☆Point</b></p> <p>本授業を振り返って、児童とともに、教員もフェアプレイを深く考えることができましたか？</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の生活でも、フェアな心から行動を起こそうとする気持ちにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習から、今後の「生き方」に影響がありそうか質疑などを通して確認するとよい。</li> </ul>	

## 大切な視点

子どもたちが正しくふるまうためには、  
**フェアな（正しく・きれいな）心（人柄・性格）**が必要である。  
 最後には、自然とそうふるまえる心の持ち主へ教育することが大切である。

## 7. 参考ホームページ

- 日本オリンピック委員会 (JOC)  
(<http://www.joc.or.jp/>)
- 日本パラリンピック委員会 (JPC)  
(<http://www.jsad.or.jp/paralympic/>)
- 日本オリンピックズ協会  
(<http://www.oaj.jp/index.html>)
- 世界オリンピックズ協会  
(<http://www.woolympians.com/>)
- 東京都オリンピック・パラリンピック教育 (東京都教育委員会)  
(<http://www.2020games.metro.tokyo.jp>)
- 日本体育協会  
(<http://www.japan-sports.or.jp/>)
- 日本財団パラリンピックサポートセンター (パラサポ)  
(<http://www.parasapo.tokyo/>)
- その他、N-COPEホームページのリンク集など  
(<https://www.nittai.ac.jp/ncope/links/index.html>)

——それは見せかけの姿でない、心が導く「フェアプレイ」という行動。

### 補足 オリパラ教育と新学習指導要領について

#### \* 新学習指導要領 (小学校) の方向性

#### 【主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニングという授業改善の視点)】

- ▶ 一方通行ではなく、積極的に対話をしながら学ぶ方向性が示されている
- ▶ オリパラ教育でも、児童と共に考えを深めていく方法が重視されている